

理工同窓会

▶ <http://meijo-rikou-dousoukai.jp/>

開学90周年にむけて

会長メッセージ



理工同窓会会長
岩崎 征一
理・建・S41年卒

を知らしめた事でした。

理工同窓会 校友会の皆様、会報発行に当たってご挨拶申し上げます。昨年、校友会報へ理工9学科同窓会の皆様の活動内容を御紹介する原稿をしたためていただいたのもやはり5月の連休のさなかであったことを思い出しながら、此の原稿をしたためています。早いものであれからもう既に1年が過ぎてしまったのかと感無量で御座います。

その1年の間に、理工同窓会の周辺には色々な出来事があり、その都度理工同窓会の毎月開催されます定例役員会の席上で35名の役員の方々にその出来事を報告し理工同窓会のなすべき方針を協議しかつ決定し9学科同窓会に持ち帰り和気あいあいとして実行に移し活動してまいりました。

私ども卒業生はこの名誉な出来事に恥じないように公私共々襟を正し名城大学の名声を高める様努力することが我が母校への恩返しであり、自分自身の誇りであり、毎日の生活のエネルギーでもあります。これから理工同窓会に入会してきます若き後輩の社会人と共に共通の宝物として心に残る出来事になりました。

第2に開学90周年を迎えるにあたり、名城大学小笠原理事長さまをはじめとする経営陣の理事の皆様方、教職員の皆様方が一丸となつて、この事業を成功させるよう努力されてみえる事は理工同窓会員はじめ他の6学部同窓会の皆様方も感謝申し上げます。

具体的には、天白キャンパス・八事キャンパス春日井キャンパスの整備スポーツ部の強化を目的とした、アスリート選手育成のための宿泊施設に、くわえ、ナゴヤドーム前キャンパスの新設と同時に外国語学部の開設を

をすることが、番のビッグプロジェクトであることは皆様も周知のことではありますが、それに伴いソフトの面では学内での人材発掘学外からの人材誘致に依る、名城大学の資質の向上を最優先事項にして活動してみえる事です。

第3に理工学部・研究実験棟Ⅱ(延べ面積約2000㎡)の新設に依り、名城大学理工学部が誇る最新の実験・研究設備が整備されたことです。この施設から近い将来、赤崎先生・飯島先生に次ぐ研究者の先生が生まれることを期待いたします。

第4に名城大学学長に吉久光理工学部長が誕生しました。開学90周年を来年に控へ歴史的には、故小澤先生、故藤吉先生、丸勢先生、下山先生に続いて、5人目の学長を迎える事です。

名城大学卒業生18万人のうち7万2千人近い卒業生を抱える(8学部23学科のうち理工学部11学科を擁する)学部として、又「理工学部の名城大学」と呼ばれるいま名城大学発展の為に責任は当然とは言え、重い責任があります。その旗印となる人材としては、人柄としての評価は名城大学の立学の精神「穩健中正」にふさわしい先生です。

長くなりましたが以上この1年間を振り返って心に残る出来事を報告致します。次年度の理工同窓会が本年度以上に名城大学・理工学部・学生諸君の為に貢献できるよう努力いたします。皆様方により一層の御協力をお願い申し上げます。有り難う御座いました。

理工同窓会の皆様へ

学部長メッセージ



理工学部長
加鳥 裕明

理工学部卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素から、名城大学、理工学部そして理工同窓会にご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

吉久光学部長の後任として、今年の4月1日付で理工学部長に就任しました、昭和51年理工学部交通機械学科卒業の加鳥裕明でございます。もとより微力ではありますが、学部の発展、充実のために全力を傾注して重責を果たす所存です。どうぞよろしくお願い致します。

昨年、本学大学院理工学研究科終身教授の赤崎勇先生がノーベル物理学賞の栄誉を受け、世界に名城大学の名前が発信されました。これを追い風に名城大学理工学部は更なる躍進を遂げるチャンスが巡ってきました。しかしながら、大学を取り巻く環境は、少子化の影響により厳しいがあります。また、名城大学に追いつけ、追い越せの勢いの近隣大学の理工学部新設、移

転の動きをみても、その厳しさを肌で感じ、この大事な時期の理工学部長の重責に身の引き締まる思いの毎日です。

チャンスはピンチであり、ピンチはチャンスであります。この時期をどのように乗り越えるかが、名城大学理工学部の存亡に関わつていると言つても言い過ぎではないと思います。

名城大学理工学部の強さは、このものづくりの地に多数おられる卒業生の人数とその活躍であると思っております。数は力であり、この歴史を新設の大学が追いつく事は難しいことです。しかし、そこにあぐらをかくことなく、前に進まなくてはなりません。進み方も色々模索しているところであり、今こそ、原点に還り、基礎学力を身につけさせ、豊かな発想力、そして自主性を重んじた教育を目指し、諸先輩の築き上げた名城大学理工学部の位置を確固たるものに致したく、教職員一同一丸となつて頑張りたいと思っております。

今年の卒業式と入学式、そして在学生に赤崎先生からのメッセージが添えられたノーベル賞チヨレートが配られました。これは、ノーベル賞受賞の偉業を讃え、共に、在学生等が赤崎勇先生の所属する名城大学の一員である事に誇りを持って、これからの大学生活を送つて欲しいとの気持ちから配られた物です。赤崎先生からのメッセージは「自分が本当にやりたいと思うことをやりなさい。そうすれば、すぐに結果が出なくとも続けることができる」です。赤崎勇先生は「『ない』ものを実現したい。これが私の夢」と述べられております。在学生が赤崎勇先生からのメッセージを胸に秘め、夢を持ち、自らの進むべき道を切り拓いて欲しいと願っています。学生達には、4年間にやりたい事が見つかるように、色々な機会を与えたいと思っております。その機会はやはり、先輩諸氏の職場であったり、活躍であったり、その影響は大きいものと考えております。同窓会の役割は本学にとって益々大きなものになっていくことと思っております。今後の名城大学理工学部の為に皆様方の協力とご理解を賜りたくお願い申し上げますと共に、益々の活躍とご健康を祈念しております。

平成27年度総会のご報告

1. 理工同窓会総会 [10:30~11:20]		司会: (学内幹事 山田 宗男)	
(1)開会の辞	(渡辺 頼道:環境会)	(5)議 事	(澤柳 正道:機械会)
(2)理工同窓会会長挨拶	(岩崎 征一)	第1号議案 平成26年度事業報告	(宮嶋 孝夫:学内幹事)
(3)来賓紹介及び挨拶		第2号議案 平成26年度決算報告	(監査役 梅本 良作:機械会)
名城大学学長	吉久 光一 先生	会計監査報告	(監査役 平野 俊夫:数学会)
名城大学常勤理事	板橋 一雄 様(小笠原理事長 挨拶代読)	第3号議案 名城大学開学90周年募金事業への対応について	(岩崎 征一)
名城大学理工学部長	加鳥 裕明 先生	会長の岩崎会長より、議案書に基づいて名城大学開学90周年募金事業への対応について説明がなされた。複数の意見および寄付金額に関する提案から協議した結果、この場では、開学90周年募金事業に対する寄付をすることのみの提案とし、寄付金額については今後の役員会において再考することで承認を行うという修正案が提案された。拍手による採決を行った結果、拍手多数にて修正案が承認された。	
名城大学校友会会長	堀川 浩良 様	第4号議案 平成27年度事業計画(案)	(石原 壽恭:材料会)
名城大学理工学部後援会会長	松原 成生 様	第5号議案 平成27年度予算(案)	(村田 英一:学内幹事)
名城大学理工学部後援会事務局長	堀 一貴 様	第6号議案 役員一部改選について(案)	(岩崎 征一)
名城大学理工学部後援会事務局次長	吉本 直美 様	(6)報告事項 校友会出向者一部改選	(岩崎 征一)
		(7)その他 新役員紹介及び挨拶	(田島 功:土木会)
		(8)閉会の辞	
2. 記念講演会 [11:30~12:45]		司会: (学内幹事 山田 宗男)	
講師 / 東海林建築設計事務所 所長: 東海林 修 様 「伝統的木造構法での仮設住宅から復旧住宅まで」・伝統構法と共に30年			
3. 懇親会 [13:00~14:30]		司会: (学内幹事 日比 義彦) タワー75 15F レセプションホール	
(1)開会の辞	(日比 義彦)	(3)乾 杯	名城大学理工学部後援会会長: 松原 成生 様
(2)祝 辞	名城大学常勤理事: 板橋 一雄 様	(4)中 杯	(岩室 隆:電気会)

土木会 <http://meijo-rikou-dousoukai.jp/dobokukai>

土木会会長
田島 功
理・土・S48年卒

平成26年度名城大学土木会総会におきまして、第17代土木会会長を拝命しました田島でございます。どうぞ、宜しくお願いします。

名城大学土木会は名城大学理工学部同窓会の設立(昭和36年)から3年後の昭和39年に設立し、昨年度節目となります50周年を迎えることができました。ようやく、50周年という節目の年を迎えられましたこと、改めまして深く感謝申し上げます。

名城大学土木会では、現在、以下の主な事業を行っています。

①土木会誌の発行 ②年末情報交換会の開催 ③在学生に対する支援 ④退職教職員への記念事業の開催 ⑤社会基盤デザイン工学科教職員との意見交換会 等

名城大学土木関係の卒業生は、全国でこれまでに1万人を超える卒業生を輩出し、我が国の国民生活や経済発展を支えるうえでの重要な社会基盤整備に多くの卒業生が携わるとともに、中部地域の発展にも大きく貢献して参りました。

我が国は、先の東日本大震災の経験からも分かる様に、非常に地震等の災害が多い国でもあり、道路、治水、海岸、上下水道などの社会基盤整備の重要性が改めて再認識されたところであり、会員の皆様方には、より一層の貢献とご活躍をお願い申し上げます。

第39回 年末情報交換会

日時 平成27年11月27日(金) 場所 レセプションハウス名古屋通信会館

名城大学技術士会
<http://meijogijyutushikai.web.fc2.com/>

名城大学技術士会会長
尾中 宗久
理・土・S50年卒

名城大学技術士会は、名城大学を卒業した技術士等の集まる会であり、今年で8年目を迎え、現在199名の会員が所属・活動しています。

主な活動は、①名城大学卒業生への技術士取得のための受験対策講座開催 ②会員のスキルアップのための講演会の開催(年2回) ③今後技術士を受験する方への指導技術士の紹介 ④理工学部に在学生への支援(講師等)を行っています。

受験対策講座を受けられた方でこれまで26名の技術士が誕生しており(合格率90%以上)、講演会は14回開催し会員をはじめ多くの方々から好評をいただいています。

技術士の資格は、卒業生が社会で活躍するためのツールとして非常に重要な資格であります。特にコンサルタンツ等においては仕事をする上に於いて無くてはならない国家資格の一つです。技術士の資格取得者の増は、必ずや母校名城大学の発展につながるものと確信しており、今後とも、大学との連携をさらに強化し会員一同努力してまいりますので、関係者の皆様方のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

また、現在までに技術士を取得されて会に加入されていない方がいらっしゃれば、ご一報をお待ちしております。

環境会 <http://meijo-rikou-dousoukai.jp/kankyokai>



環境会会長
渡邊 颯造
土木・S42年卒
理・環境創造修・H16年卒

「自然と人間の明日を考える。」社会、未来につながる、自然と人間が共生できる「環境創造」、明日を考え環境に関する課題は山のように積み上げられたまです。環境創造学科では、「自然環境系」「都市・住環境系」からなる教育体系により平成12年に創設され、環境会同窓会は11年になります。同窓会員の皆さまには、各地域、各界各層において貢献され、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素から同窓会活動にご理解並びにご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、会報(名簿会誌)研究室所属会員名簿(第五号)を発行し、環境会会員は1,215名程になりました。

平成27年度の主な活動行事としては、5月 環境会評議員会の開催 / 6月 環境会総会 / 7月・1月 環境会役員会 / 4月～11月 環境創造学科活動への援助(高校生・環境エッセイコンテスト、講師の謝礼支援、学科生・専攻就職ガイダンス支援、他) / 4月～3月 環境会ホームページの管理・更新 / 11月 環境会入会・会則説明会 / 2月 環境会親睦会(懇親会) / 3月 卒業生の記念品、祝賀パーティー・援助等を環境会行事として計画しています。

今後とも、環境会の各種行事等に多くの卒業生の皆様方に参加をしていただき、交流・親睦を図ることにより人と人との絆を深め、会員、諸先輩のお力添えをいただき、学科や諸先生方との連携も密にし、より一層の発展と共に環境会としての活動を行うことができるよう、若い力が必要です。皆さまのご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

〒468-8502 名古屋市中白区塩釜口1-501
名城大学理工学部環境創造学科事務所内 環境会
TEL 052-838-2062 FAX 052-838-2356
E-mail rkoffice@ccomfs.meijo-u.ac.jp

※環境会はホームページを開設いたしておりますのでご覧下さい。

環境会 検索

同窓会役員名簿

任期 平成27年5月1日～平成28年4月30日

役職	氏名	卒年
会長	庵原 英雄	交・S47
副会長	江上 登 常田 勝男 田島 功 高垣 満正 石川 豊	機・S41 電・S56 土・S48 交・S48 建・S47
常任幹事	渡辺 孝夫 牛田 大樹 大口 友里恵 渡辺 颯造	数・S56 情・H25 材・H24 環・H16
学内幹事(正)	冨田 耕史 渡辺 孝一 村田 英一	数・H4 社・H7 電子・H12
学内幹事(副)	小島 晋爾 菅野 望 平岩 陸	
幹事	宇野 弘 今村 栄介 安瀬 海渡 加藤 良幸 開米 和明 岩室 隆 梶田 正勝 森澤 厚 塚本 光俊 新費 輝行 石原 壽恭 福垣 広祐 岩間 守正 瀧美 智康 三宅 博幸 尾中 宗久 山中 弘 荒木 衛 中川 貴哉 野田 智敬	数・S52 数・H19 情・H25 情・H25 電・S47 電・S45 機・S42 機・S45 材・H27 材・H27 材・H26 交・S54 交・S50 土・S50 土・S46 土・S50 建・S53 建・S58 環・H17 環・H17
監査	梅本 良作 平野 俊夫	機・S50 数・S49
顧問	岩崎 征一 神田 善郎 清水 正義	建・S41 電・S45 土・S44

平成27年度事業計画

理工同窓会活動は、大学と連携を基に会員相互の情報発信及び後援会、校友会等同窓会の「絆」を広げる為の活動を行う

- 各種同窓会との情報交換会の開催
- 理工学部長及び各学科長との情報交換会
- 理工学部後援会の事業に支援、協力等を定期的実施
- 校友会報に理工同窓会便りを掲載
- 平成28年3月定年退職又は準ずる先生方に記念品贈呈
- 新入会員(平成27年3月卒業生)に記念品贈呈
- 理工同窓会のホームページを充実し的確な情報発信
- 準会員(現役学生)に対し就職支援活動の実施
- 平成28年6月12日(日)理工同窓会総会を開催

予算・決算報告

平成26年度 一般会計収支決算書		平成27年度 一般会計収支予算書	
平成26年4月1日～27年3月31日		平成27年4月1日～28年3月31日	
収入の部 単位:円		収入の部 単位:円	
科目	決算額	科目	予算額
前年度繰越金	8,421,296	前年度繰越金	350,542
会費(校友会助成金)	4,064,000	会費(校友会助成金)	4,324,000*
雑収入	191,159	雑収入	625,458
		特別会計より振替へ	(審議中)
合計	12,676,455	合計(特別会計を除く)	5,300,000
支出の部 単位:円		支出の部 単位:円	
科目	決算額	科目	予算額
下部組織助成金	2,400,000	下部組織助成金	2,400,000
記念品代1(卒業記念品代)	500,000	記念品代1(卒業記念品代)	500,000
記念品代2(退職教員記念品代)	320,000	記念品代2(退職教員記念品代)	200,000
総会費	708,460	総会費	600,000
広報活動費	85,060	広報活動費	100,000
会議費	408,038	会議費	300,000
事業費	230,000	事業費	200,000
交通費	0	交通費	10,000
事務費	44,355	事務費	10,000
慶弔費	0	慶弔費	50,000
周年事業助成金(土木会)	500,000	記念事業積立金	500,000
周年事業助成金(情報会)	100,000	予備費	430,000
周年事業助成金(材料会)	30,000	90周年募金事業寄付金	(審議中)
記念事業積立金	0		
予備費	0		
(支援金、平成26年度前期の運営費含む)			
特別会計への振替	7,000,000		
次年度繰越金	350,542		
合計	12,676,455	合計(特別会計を除く)	5,300,000

*H22年度に校友会入会金を支払った学生数(学部1081+大学院0)×4,000円
*平成27年6月25日現在

数学会 <http://math.meijo-u.ac.jp/sugakukai>



数学会会長
渡辺 孝夫
理・数・S56年卒

数学会会員の皆様こんにちは。皆様方には、日頃から数学会の運営につきましてご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。平成26年度の事業報告と平成27年度の事業計画をお知らせいたします。会員の皆様には、総会・数学教育研究会にごぞってご参加ください。

- 平成26年度事業報告
 - 1.数学会総会 平成26年6月15日(日)
 - 2.第23回数学教育研究会 平成27年1月12日(月・祝)
 - 3.卒業式 平成27年3月19日(木) 学部卒業生数 88名 博士前期課程修了者数 7名
- 平成27年度事業計画
 - 1.数学会総会 平成27年6月14日(日)
 - 2.第24回数学教育研究会 平成28年1月11日(月・祝)
 - 3.卒業式 平成28年3月18日(金)
 - 4.役員会(2ヶ月に1回、年5回程度)

建築同窓会 <http://meijo-rikou-dousoukai.jp/kentoku>



建築同窓会会長
石川 豊
理・建・S47年卒

建築同窓会の会員の皆さま方におかれましては各地域、各方面においてご活躍、ご貢献をされていますことは心強い限りであります。又、日頃より建築同窓会活動に格別なご理解と、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。建築同窓会は創立50周年の節目を終えて2年が経過する中、卒業生と大学、現役学生の絆をより深めることが重要であるとの考えで、26年度は新たな企画で建築同窓会情報交流会を11月29日、天白校舎において開催しました。

参加者は来賓、教員、OB、学生、合わせて152名の多くの方々に参加をいただきました。引き続き絆を深める一環として学科との連携強化、現役学生との交流の機会を深めてまいりたいと考えております。今後も役員一同精一杯、力を尽くしてまいりますので会員、関係者の皆さま方におかれましては一層の力添えと、ご支援をお願いすると共に、皆さま方のご多幸を祈念申し上げます。

交流会開催のご案内
日時 平成27年11月28日(土) 場所 アイリス愛知(コスモスの間)

情報会 <http://www.meijo-johokai.org>



情報会会長
牛田 大樹
理・情・H25年卒

情報会は、昨年設立10周年の節目を迎えました。同じく開設10周年を迎えた情報工学科と共同で記念事業を催し、既に卒業された同窓生の方と教員とがご歓談されるなど盛況の内に終了いたしました。情報会設立当時と比べ、現在会員は1千名を超え、同窓会組織として少しずつ大きくなっていくことを実感しております。IT化が進んだ現在社会において、情報技術が使われていない分野は無いのではないかと考えるほど様々な場所での一端を目にします。同窓会として現代社会で既に活躍されている会員の皆さまと、将来社会へと飛び立つ同窓生との親睦をより深められるよう活動を行い、情報工学科と理工学部、延いては社会の発展に少しでも力になれるよう今後一層努力してまいりますので、ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

交通機械会 <http://www.ob-meijo.com>



交通機械会会長
高垣 満正
理・交・S48年卒

交通機械会会員の皆様におかれては、各事業に常に関心を頂き、積極的な参加、ご支援ご協力に感謝申し上げます。我々交通機械会は、大学の発展と会員相互の交流を目的に、情報の発信基地であり、卒業生、在校生、先生方とのコミュニケーションを大事にし、その架け橋役が使命であると常に心がけて活動しています。今回交通機械会のホームページをリニューアルしました。卒業生、在校生に関わる大きなイベントや、交通機械会が催す事業の予定と状況報告をタイムリーに展開しております。また、大学や理工学部同窓会へもリンクできるようにしております。私も、このホームページを通して、より一層深い縁と絆が築けたらと期待しております。積極的にアクセスをお願いします。

毎年役員で話し合い工夫を凝らしたイベントや、少しでもお役に立てれば「東日本大震災募金」は四年間継続して行っています。募金活動では、来賓の皆様、他学科同窓会、先生方、卒業生の皆様に多大な協力をいただき校友会を通じ被災された東北の地を支援させていただいております。この活動を始めたときに「10年は継続します」と宣言しておりますので、今後のご協力を宜しくお願い致します。今後とも交通機械会にご支援いただけます様宜しくお願い致します。

28年度 賀詞交換会
日時 平成28年2月6日(土) 場所 名駅サテライト(MSAT) KDX名古屋駅前ビル13階 午後5時～8時30分 ミニ講演会、懇親会

機械会 <http://meijo-rikou-dousoukai.jp/kikai>



機械会会長
澤柳 正道
理・機・S41年卒

機械会会員の皆様には国内は勿論のことですが海外に赴任いたした大いに活躍をされている方も多数居ると聞き及んでおります。誠に喜ばしい事です。さて機械会も本年度で58年を迎えることとなりました。これも約8,000人に及ぶ(機械会誌郵送者)会員の皆様のご支援の賜と心より感謝を致す次第です。我が名城大学も来年(平成28年)開学90周年を迎えますが、機械会も二年後の平成29年には60周年を迎えますので現在記念式典の準備をスタートしております。具体的には来年発行致します第59号でお知らせする予定です。平成26年度の主な事業は第57号機械会誌の発行、(6月初旬に郵送済み)第57回機械会総会開催、第14回新春交流会開催を致しました。

平成27年度も上記主事業を計画致しておりますが、第58号機械会誌は6月初旬に郵送済みです。今年度は別途「機械会のホームページ」を会員皆様により多くの情報提供を致す為、専任業者に依頼し年度内に刷新致しますのでご期待下さい。会員の為の機械会をより発展させるには皆様の要望がより重要になります。是非情報を持つだけでなく情報提供を共に行うためにご意見を下さいますようお願い申し上げます。

第15回新春交流会
日時 平成28年1月16日(土) 場所 場所は年内にホームページに掲載します。

材料会 <http://meijo-rikou-dousoukai.jp/zairyokai>



材料会会長
大口 友里恵
理・材・H24年卒

材料会会員の皆様方におかれましては、益々のご活躍のこととお喜び申し上げます。平成27年1月には、「材料会創立10周年記念式典」を盛大に執り行うことができ、学友との再会による喜びを感じるとともに、会員同士の縦の繋がりが絆を深めることができたかのように感じております。これも会員の皆様のご支援、ご協力の賜と感謝致しております。平成28年1月には、「第5回新春情報交換会」を執り行う運びとなりますので、会員の皆様方の多くの御参加をお待ちしております。我々は、材料機能工学科の在学生、卒業生及び教職員、この三者間の絆をより一層固く繋ぐ同窓会組織を目標とし、より一層充実させた材料会の運営をしておりますので、何卒宜しく御指導御鞭撻の程御願ひ申し上げます。

- 昨年度の主な活動内容
- 6月 総会 / 10月 ソフトボール大会支援 / 1月 第4回新春情報交換会
- 2月 資格取得支援・卒論・修論発表優秀者表彰支援 / 3月 卒業祝賀パーティー支援

第5回新春情報交換会のご案内
日時 平成28年1月 場所 詳細については案内状にて通知いたします。